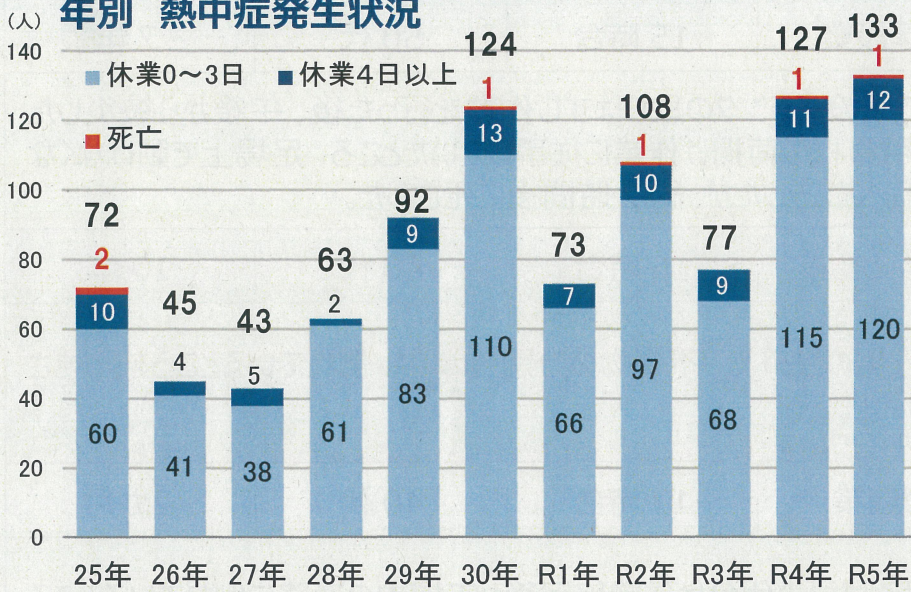




大分県の職場における熱中症発生状況

※労働者死傷病報告、療養の給付申請書等により把握した件数。※「過去3年」は令和3年、令和4年、令和5年の集計値

年別 熱中症発生状況



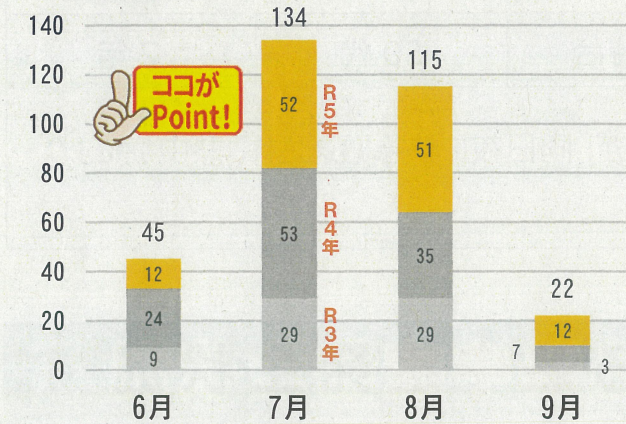
☞ 令和5年は133人が熱中症により治療を受けました。

前年から6人増加し、集計を始めた平成25年以降で最多の人数でした。

☞ 令和5年は、建設業において熱中症による死亡災害が発生しました。

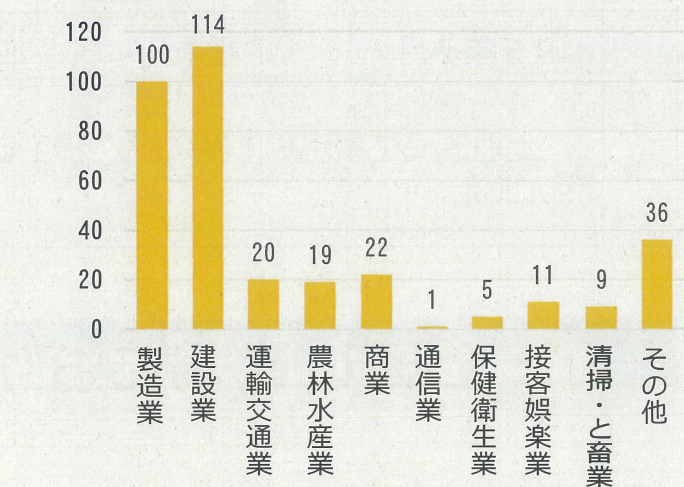
☞ 平成25年以降の熱中症による死亡者数の合計は6人です。

過去3年 月別 熱中症発生状況



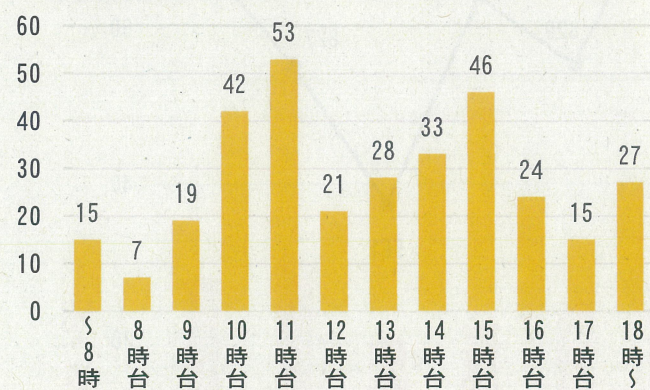
☞ 7月と8月に集中して発生しています。
このことから、重点取組期間（7月）の予防対策に万全を期して、この2か月に臨むことが重要となります。

過去3年 業種別 熱中症発生状況



☞ 製造業と建設業の合計で、約6割を占めています。

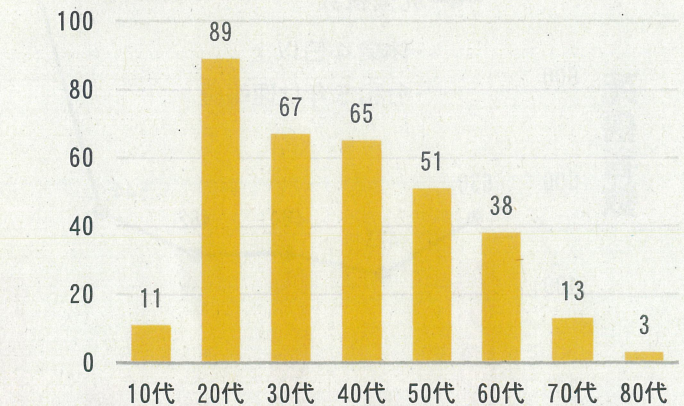
過去3年 時間帯別 熱中症発生状況



☞ 作業開始から約2時間経過後の10時台、11時台と15時台に発生ピークが認められます。効果的な休憩取得の目安にしてください。

☞ 17時以降（勤務終了後）の発症にも注意が必要です。

過去3年 労働者年齢別 熱中症発生状況



☞ 10代と20代で約3割を占めています。夏季の作業経験が少ない等の原因が考えられます。

☞ 若年層に対する暑熱順化の配慮とともに、必要な教育を確実に実施していただくようお願いします。

熱中症による死亡災害発生状況

	発生年月	業種	発生時刻	年齢	経験年数
1	H30年7月	建設業	15時台	50代	7年
	午前中に別の現場で既設ベランダの取りはずし作業を行った後、午後から被災した新築現場において足場用資材の荷揚げ作業に従事していたところ、足場上で動けなくなったため、救急車で病院へ搬送したが、約2時間後に死亡した。				
2	R2年7月	清掃・と畜業	16時台	40代	10年
	産業廃棄物中間処理場の屋外で、不燃物の分別作業中、倒れているところを発見され、翌日、熱中症により死亡した。				
3	R4年7月	製造業	17時台	40代	2か月
	クリーニング工場における寝具の仕分け作業終了後、工場内の通路に倒れているところを発見され、同日、熱中症により死亡した。				
4	R5年7月	建設業	19時台	50代	2年
	土地造成工事現場で作業をして帰宅したが、同日夜に救急搬送され、熱中症により死亡した。				

全国の職場における熱中症発生状況

